

市民学習研究協議会

～ 学校・地域・市民が手をつなぐ体験学習のすすめ方～

「生きる力」を育もう

趣 旨

「市民学習」とは何でしょうか？ ひとことで言えば、「良き市民になるために学び続けること」といえます。学校の中や教科書だけでは学び得ない体験的な学習や実践などを通し、現実の社会とふれあうことによって、社会の一員として必要な力が培われていきます。

市民学習によって、自ら課題を見つけ自ら学び自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の資質や能力が育まれます。

日々の暮らしの中で感じる社会的な課題、たとえば「ボランティア」「福祉・医療」「自然・環境」「平和・安全」「国際交流・支援」「地域・文化」などのテーマに沿った体験的な学習を通して、主体的・実践的な学びを積み重ねる人々が増えることにより、やがてその広がりが社会のさまざまな課題解決の糸口につながるでしょう。実際に、現在の社会は、こうした絶え間ない市民学習の積み重ねの成果として成り立っているのです。

市民学習の意義や実践を社会に広め推進するために、さまざまな機関と連携しながら、市民学習を多角的に研究・協議する場が必要とされています。本会では、事例報告やプログラムの実例を通して、市民学習推進の現状や課題について、多様な立場や視点から協議を行います。

主 催 東京ボランティア・市民活動センター

対 象

- ・ NPO・ボランティアグループ・市民活動団体などで、教育やアウトリーチに関心のある方
- ・ 社会福祉協議会やボランティア・市民活動センターなど、地域に関わる機関の関係者
- ・ 学校支援コーディネーター・ボランティアコーディネーター・PTA・地域関係者
- ・ 小学校・中学校・高等学校などの先生、教育関係者
- ・ その他、学生、教育・市民学習・体験学習などに関心のある方一般

日 時 2009年8月6日(木) 午後1時30分～4時30分

会 場 東京ボランティア・市民活動センター会議室(飯田橋セントラルプラザ10階)

JR 総武線飯田橋駅<西口>

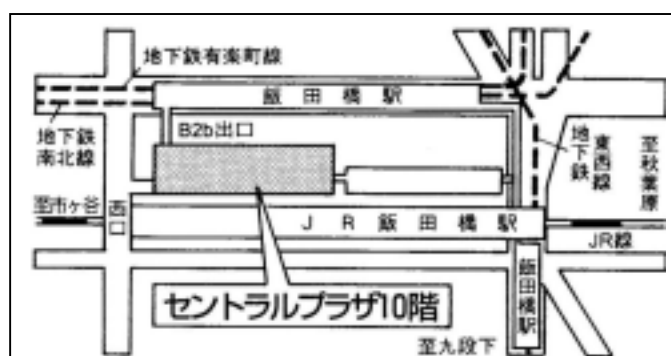
または、

地下鉄有楽町線・南北線・

東西線・大江戸線飯田橋駅

の<B2b出口>徒歩3分

大江戸線は改札から10分程かかります。



参加費 1,000円(資料代込)

定 員 100名(申込先着順、定員になり次第締切)

内 容

1. 事例報告 (30分): 墨田区教育委員会 学校支援ネットワーク本部事務局 森本芳男さん 「学校支援ネットワーク事業について～地域の人材を教育に活かすために」

今年度から、墨田区では「学校支援ネットワーク本部」を設置し、学校・家庭・地域が一体となって「地域ぐるみで子育てを行う体制」を整備していく方針です。

地域の人材をどのように教育に活かすのか、そのねらい、経緯、展望などを、墨田区立本所中学校や両国中学校の校長として、ゲスト講師による授業を積極的に行ってきた森本氏に、事例を交えながらお話しいただきます。



2. 市民学習の実践例 (60分): 墨田区福祉保健部職員 秋田昌子さん (話し手) 「トラさんが生きて！みんなも生きて！」

介護を通していのちの可能性や自分らしく生きることの大切さを学ぶ、福祉教育の実践例。100枚におよぶスライドと講話による授業を実際に体験します。

13年前、秋田さんの祖母トラさんが103歳でこの世を去りました。

病に倒れたのが100歳のとき。心臓病、認知症、大腿骨頸部骨折を起こし、在宅から病院生活を経て自宅で息を引き取りました。3年間の介護生活は家族にとって「たいへん！」な日々でしたが・・・その半面、貴重な「宝物！」でもありました。

実は「たいへん！」という思いから「宝物！」に変わる瞬間がいくつもあったのです。起こっている出来事は変わらないのに、見方が変われば価値が変わり「人が生きられる！」そんな大切なことを“トラさんと子どもたち”が身を持って教えてくれたのでした。

これは、介護を通して、出来事と向き合い、人間と向き合い、いのちと向き合い、人と人のつながりにふれる話です。一見、介護の話のようですが・・・実は人間の話なのです。

<これまでの講演活動例>

【小学校】足立区立西新井第二、国分寺市立第一小学校 ほか

【中学校】墨田区立竪川・墨田・両国・本所・寺島・向島・文花、練馬区立三原台・大泉第二・石神井・石神井西・光が丘第一、神津村立神津島、荒川区立第四、杉並区立井荻・神明・杉森、中野区立中野第三、江東区立深川第八、台東区立桜橋、足立区立西新井、港区立三田中学校 ほか

【大学・専門学校】早稲田大学(学生・社会人)、東京経済大学、東京国際大学、東京栄養食糧専門学校 ほか

【その他】墨田区教育委員会母親研修会、大田区区民大学(大田区教育委員会社会教育課)、あだち一万人の介護者の会、墨田区立文花中学校PTA、NPO法人ネットワーク「地球村」足利、世田谷専修学校各種学校協会、鶴ヶ島市東公民館、農林中央金庫 ほか

3. 事例報告 (30分): 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ 小林郁義さん 「子どもを軸にしながら地域を耕す～地域の市民団体との協働」

“自らの意思と判断力を持ち、他者との関わりあいの中で社会を創っていく”そんな市民像を描きながら、市民学習支援に取り組んでいる市民活動センターたちかわ。

地域を耕す中間支援センターとして、学校や地域の人、市民活動団体などと協働しながら、市民学習の推進に取り組む思いやその実践についてお話しいただきます。

4. 課題提起、意見交換 (50分) 途中休憩あり

コーディネーター：茨城大学教育学部教授 / 東京ボランティア・市民活動センター専門員
瀧澤利行

申込方法

参加申込書にしたがい、FAX、ホームページ、郵送などで下記へお申込み下さい。
お申込み後、ご返信差し上げますので、FAXまたはEメールアドレスを必ずご記入下さい。

申込先

東京ボランティア・市民活動センター（担当：宮田、吉田、青柳）
〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階
TEL：03-3235-1171 FAX：03-3235-0050
ホームページ <http://www.tvac.or.jp/>

市民学習研究協議会 参加申込書（2009年8月6日 開催）

申込先 東京ボランティア・市民活動センター（担当：宮田、吉田、青柳）

FAX 03-3235-0050

フリガナ	
氏名	
所属（勤務先）	
役職	
連絡先	〒 TEL FAX
Eメールアドレス （携帯以外）	
備考欄	

ご記入いただいた個人情報は主催者が適切に管理し、市民活動に関する研修等事業のご案内に利用させていただきます。個人情報の取扱いに関する方針はホームページ（<http://www.tvac.or.jp/>）をご覧ください。